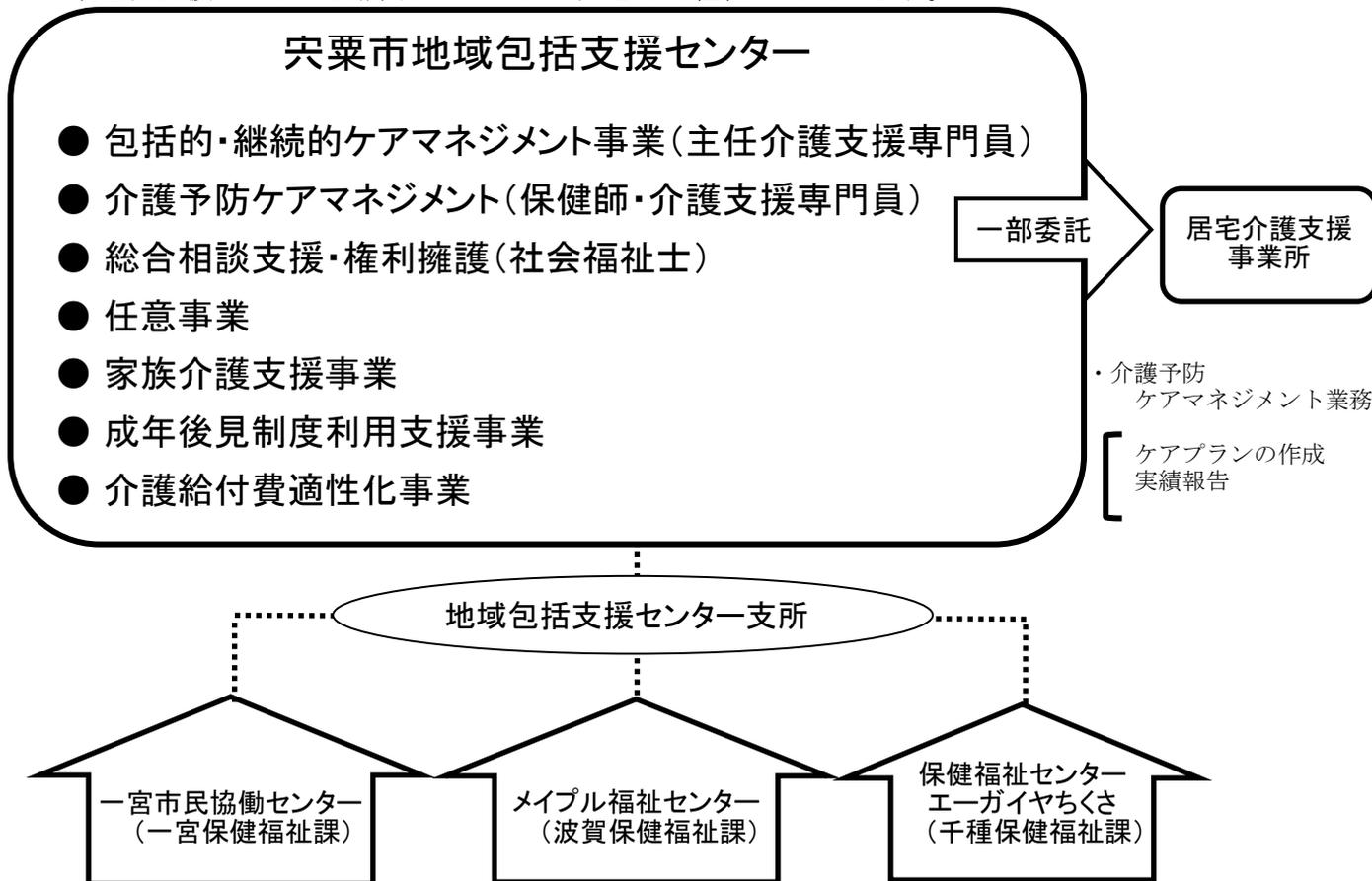


### 1. 地域包括支援センターの設置状況

中核的な役割を担う地域包括支援センターは市直営で1か所設置しています。また、市内全域で地域包括支援センター機能が行き渡ることを目的に、各保健福祉圏域（一宮、波賀、千種）の保健福祉課を地域包括支援センター支所(サブセンター)として位置づけています。



※各支所に保健師1名配置(地域包括支援センター支所業務他を担当)

### 2. 地域包括支援センターの職員の配置

地域包括ケアシステムの構築に向け、地域包括支援センターの機能強化を図るため、平成27年度より「認知症地域支援推進員」と「生活支援コーディネーター」を配置しています。

職 種 (主な業務)	地域包括支援 センター	一宮 保健福祉課	波賀 保健福祉課	千種 保健福祉課
保健師 (介護予防事業・連携会議等)	2			1 (兼務)
社会福祉士 (総合相談・権利擁護等)	3			
主任介護支援専門員 (ケアプラン作成・介護支援専門員支援等)	1 (兼務)	1 (兼務)	1 (兼務)	
介護支援専門員 (介護予防ケアマネジメント業務等)	2	2	1	1
認知症地域支援推進員 (認知症相談・施策推進等)	1	1 (兼務)		
生活支援コーディネーター (生活支援サービス基盤の整備・ネットワークの構築等)	2 (兼務)			
高齢者実態把握調査員 (高齢者世帯の生活状況の把握等)	2	2	1 (兼務)	1 (兼務)

### 3. 一般介護予防事業（地域介護予防活動支援事業）

高齢者が身近な場所で気軽に集まり、介護予防活動を実践する通いの場づくりを応援しています。地域で活動している団体に、講師派遣を行い、健康づくり・介護予防に関する30分程度のミニ講座を開催し、住民同士のつながりや、通いの場を地域に広める取り組みを行っています。

#### ○ いきいきクラブ（高齢者の通いの場づくり）

公民館等を活用して住民が主体的に運営する「通いの場」に、専門職等を派遣し、より効果的な場の運営を支援します。

開催回数：188回

参加のべ人数：1,984人

令和5年1月末現在

内 容	開催回数	参加人数
自分を見つめ 今をよりよく 自分らしく生きる 自分のために、家族のために考えましょう 講師：終活カウンセラー	14回	148人
脳トレ&簡単ストレッチ体操 体を動かして楽しく脳トレとストレッチ 講師：スポーツインストラクター	29回	310人
手話を学ぼう！手話で歌おう！ みんなで楽しく簡単な手話をやってみよう 講師：手話通訳者	4回	28人
あなたのまちの地域包括支援センター 地域包括支援センターについてわかりやすくお話しします 講師：社会福祉士	5回	54人
音を楽しんで、笑顔大作戦！ 手遊び・音遊びを楽しみましょう 講師：音楽講師 他	18回	166人
知ろう 学ぼう 消費者トラブル！ 穴粟にひそむ悪徳商法を知ろう 講師：消費生活相談員	9回	101人
みんなで集まるって楽しいね！ 地域のか、支え合いや人とのつながりは大切です 講師：生活支援コーディネーター	10回	104人
今日からできる認知症予防 生活の中でできる認知症予防のポイントとコツ 講師：認知症地域支援推進員 他	19回	236人
元気な体づくりでフレイル予防 講師：保健師	25回	266人
シニアはメタボよりフレイル予防 講師：管理栄養士	28回	295人
オーラルフレイル予防 講師：歯科衛生士	27回	276人
フレイル予防で健康寿命を延ばそう！ 講師：理学療法士	0回	0人

#### 4. 総合相談事業(健康状態不明者の実態把握)

75歳以上の高齢者で健診データや医療レセプトデータのない方、または地域包括支援センターが把握していない方を抽出して、保健師の訪問により健康状態が不明な高齢者の状態を把握し必要な支援につなげます。

	対象者	訪問の結果、支援が必要な方
山崎	8人	4人
一宮	9人	0人
波賀	2人	0人
千種	2人	0人
計	21人	4人

#### 5. 高齢者見守り事業

高齢者特に高齢者のみ世帯の生活状況を把握し、安否確認や緊急時の対応ができるように平素からの関わりが必要です。

##### ○ 地域自立生活支援事業(給食サービス)

ひとり暮らしなど高齢者のみ世帯に対して、栄養バランスがとれた食事の確保と安否確認を目的として食事の配食をしています。事業実施は社会福祉協議会に委託し、安否確認時に気になることがあれば市に報告があります。

配食回数は全圏域週2回です。利用者は材料費等実費負担として1食400円を自己負担します。

<配食数>

令和5年1月末現在

	実施回数(回)		延べ配食数(食)		
	年間	月平均	年間	月平均	1回当たり
山崎	78	7.8	5,324	532.4	68.3
一宮	79	7.9	2,145	214.5	27.2
波賀	79	7.9	1,443	144.3	18.3
千種	78	7.8	1,519	151.9	19.5
計	314	31.4	10,431	1043.1	33.2

## 6. 認知症支援者育成事業

認知症を理解し、地域で暮らす認知症高齢者やその家族への支援者を増やすことを目的に、「認知症サポーター養成講座」を開催しています。認知症キャラバンメイト養成講座を受講した認知症キャラバン・メイトが講師となり、金融機関職員、教職員、学生、ボランティアグループ等を対象に実施しました。また継続的な学びの場として認知症サポーターへのステップアップ講座を開催しています。

### ○ 認知症サポーター養成講座

#### 認知症サポーターとは？

認知症について正しく理解し、認知症のひとや家族を温かく見守り、支援する応援者です。養成講座の修了者には、「オレンジカード」を交付し、サポーターとしての認識をより高めます。

講師

#### 認知症キャラバンメイトとは？

養成講座の修了者には、「修了証」を交付し、登録番号を付与しています。認知症に関するより専門的な知識を持ち、認知症サポーター養成講座を企画・実施します。

※宍粟市の認知症キャラバン・メイト数  
令和5年1月末現在：62人

#### 【認知症サポーター養成講座のプログラム】

- (1) 認知症サポーターとは
- (2) 認知症を理解する
  - 認知症とは
  - 早期発見・治療・予防
- (3) グループワーク(事例を通して)
- (4) グループ発表
- (5) サポーターとしてできること

開催回数：10回

参加のべ人数：157人

キャラバン・メイト従事のべ人数：21人

	対象者	会場	開催回数	参加人数	キャラバン・メイト 従事人数
1	宍粟市社会福祉協議会	社会福祉協議会本部	1回	7人	2人
2	西兵庫信用金庫職員	にししん本店(テレビ会議システム)	1回	18人	2人
3	一宮北中学校3年	一宮北中学校	1回	32人	2人
4	オレンジカフェゆいまーる	上寺ふれあいの家(公民館)	1回	10人	2人
5	千種小学校5年	千種小学校	1回	16人	2人
6	神野小学校6年	神野小学校	1回	22人	2人
7	伊和高校2年(ボランティア)	伊和高校	1回	7人	2人
8	伊和高校3年(福祉)	伊和高校	1回	7人	2人
9	JAハリマ	JAハリマ会議室	1回	25人	2人
10	関電サービス職員(山崎)	関電サービス	1回	13人	3人

令和5年1月末現在

## 7. 令和4年度 認知症予防健診結果

実施日	令和4年6月8日～令和4年12月2日 合計23回				
対象者	特定健診・がん検診受診者のうち70～74歳				
受診者数	1,359	異常なし	1,349	要精密	10

(単位：人)

### 【要精密者内訳：圏域別・男女別】

圏域	男	女
山崎	3	1
一宮	2	4
波賀	1	0
千種	0	0
宍粟市	5	5

(単位：人)

### 【要精密者内訳：既医療・受診勧奨等】

(単位：人)

要精密者 10	既医療	8	介護認定あり	4	サービス利用あり：4	
			介護認定なし	4	事業対象者でミニデイサービス利用者：1 いきいき百歳体操参加：1 認知症予防健診後に介護保険申請へ：1 サービス利用なし（難病）：1	
	受診勧奨	2	受診すみ	2	診断	0